

毎年11月は

児童虐待防止推進月間

平成25年度児童虐待防止推進月間標語

さしのべた その手が
こどもの命綱



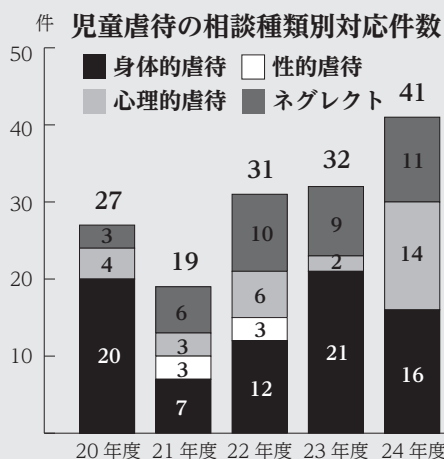
町の児童虐待相談状況

昨年度、役場子ども課で対応した「児童虐待相談(疑い含む)」の件数は41件で、家族や児童相談所・学校等の公的機関から相談を受けています。平成22年度から増加の傾向にあります。

相談の種類別にみると「身体的虐待」が16件、次いで心理的虐待が14件、「ネグレクト(不適切な養育)」が11件となっていました。

虐待を疑うきっかけ

- 身体の見えない所に傷や火傷(やけど)がある
- 服や身体が汚れていることが多い
- 表情が乏しく、笑顔が少ない
- 保育園等の登園時、親と目を合わせず、オドオドしている
- 保育園等で、昼食やおやつを人一倍たくさん食べる
- いらいらした様子で、物を投げたりする
- 家に帰りがらない
- 夜に家の周りをウロウロしている



虐待かも?と思ったら…

ためらわず通告してください。
それが子どもの命綱になることも。

でも、もし間違いだった
ら悪い気がする…

もし、虐待でなかったとしても、
通告者に責任はありません。

むしろ、手遅れになる前に通告する
ことが大切です。

通告は匿名でもかまいません。

匿名の通告でもきちんと受理されます。通告時には、対象となる子ども
の住所や氏名、虐待の内容などわか
っている範囲での情報提供に応
じる必要がありますが、調査の結果、
虐待でなかったとしても通告者に
責任はありません。

通告者がわかっていて
も、誰であるかを教える
ことは絶対ありません。

通告後の取り扱い

通告後、慎重に調査をして対応します。児童相談所に通告があると、
緊急性や調査方針などが検討され、
原則48時間以内に子どもの安全確
認を行います。同時に保護者・子ど
もの面接、周辺住民や関係機関への
聞き取りなどが行われ、必要な場
合は子どもの一時保護を行います。

通告・相談先

- 役場子ども課
☎ 286・3111 内線262
- 中央児童相談所
☎ 381・4451
- 児童相談所全国共通ダイヤル
☎ 0570・064・000

オレンジリボン運動

オレンジリボンには「子ども虐待
防止」というメッセージが込められ
ています。毎年11月にはオレンジ
リボンツリーを役場玄関口に設置
し、啓発活動を行っています。